

根来山げんきの森だより 159号

根来山げんきの森倶楽部
<http://genkinomori.jp/>

活動日作業日誌：平成30年10月21日【巣箱回収】から抜粋

回収した巣箱の中に、たいへんめずらしいものがあったので紹介します。

それは沢小屋の外側の壁に取り付けたものです。

巣箱の中を見ると、シジュウカラの産座がきれいに残っており、無事に巣立ったようです。この時期になると産座は多少くたびれたようになっていくことが多いのですが、まるでモデルハウスのようにきれいな状態のままです。

驚いたのは産座の状態ではなく、巣箱の屋根の上です。

なんとオオルリの巣があったのです。

そのオオルリの産座もきれいな状態で残っていました。この巣箱は、げんきの森の標準的な仕様のものではなく、Oさん作の竹筒を利用したものでした。巣箱の屋根の傾斜がゆるやかであったことが幸いでした。しかも沢小屋の庇が、巣箱を守るような位置にありました。

おなじ巣箱で、シジュウカラとオオルリという違った種の鳥が繁殖したというのはたいへん珍しいことだと思います。もちろん繁殖の時期は同時ではないでしょうが、おそらくシジュウカラが巣立って巣箱が空になってから、オオルリが営巣したのでしょう。想像するだけで楽しくなります。



ツワブキ（キク科）



ツワブキは海岸付近に多い植物です。県の中南部に行くとも海岸から数キロ入ったあたりでもけっこう見られるのですが、紀ノ川沿いではほとんど内陸にはっていないようです。不思議ですね。

ツワブキは名前の通りフキの仲間です。漢字で書くと「艶落」。なぜ、ツヤがあるかというと、ツワブキの常緑の葉の表面をクチクラという蠟の成分が覆っているからなのです。

では、なぜクチクラがあるのでしょうか？

ツワブキが多いのは県南部の海岸沿い。冬でも暖かい地方に生育しており光合成ができるので常緑になっているのですが、夏の強い日差しから身を守るためにクチクラの層を発達させているのです。

ツワブキの葉を1枚摘んで、ちぎれた部分の香りをかいてみてください。フキと同じ香りがするでしょう。ツワブキもフキの仲間だと納得していただけるはずです。

次に、同じ香りがするということは、やはり食べられるのかどうか気になりますよね。実は食べられるのです。すさみ町辺りでたべるとい話を聞いたことがありますし、和歌山市内でも雑賀崎でお会いしたおばあさんから食べているというお話しをお伺いしたことがあります。

実は私も毎年食べています。フキよりも少し固くてアクが強いので、フキより数分長めに茹で、皮をむいたら、水につけてアクを抜く時間もやや長めで30分程度は水にさらしています。あまり

長くさらしすぎると肝心のフキの香りが薄まってしまうので気をつけてください。

あとは、水気を取って佃煮にするのが私のお好み。毎年4月から5月にかけてせっせとツワブキの佃煮を作っています。

フキの花は春に咲くのにに対し、ツワブキは初冬に花を咲かせます。美しいキクの花です。

駐車場脇に移植したウメの株にくっついてきた一株のツワブキは大きな株になって毎年きれいな花を咲かせてくれます。

ぜひ、この季節にツワブキの花をお楽しみください。

活動日作業日誌：平成 30 年 10 月 21 日

天気：晴れ 参加：倶楽部員 40 名

【遊歩道補修】

ふれあいの森西側遊歩道が台風のため、遊歩道の谷側の木が根ごと倒れ、4mほどにわたって抉れ、道幅が半分になっていました。

倒木はそのままにして、抉れた部分だけを埋める方針です。作業現場までテラーで資材を運ぶ必要がありますが、西側入り口も山側のコナラが倒れたため、遊歩道に土が盛り上がり通行不可能になっていました。テラーの通行を妨げていた入り口の土石は、作業日までに取り除き、現場に運びました。

作業日、Hさんを頭に剛力？5人での作業でした。テラー2台で1台は第2駐車場から土運び、もう1台は横木に使うクスノキを、土場から運びました。少し太い目のクスノキ4.5mは3人がかりでもテラーに乗せるだけで一苦勞でした。横木を置き、土を1車入れたところで昼になりました。

午後は、土を1車で、補修は完成しました。

倒れた木がなければ、道が崩れていたとわからないほどです。残りの時間は、倒木、枝折れ処理班が出した、炭材や薪用のコナラを炭窯まで運びました。テラー山盛りを2車運んだところで作業終了です。

遊歩道周辺には、まだ炭材／薪材が残っていますが、これでふれあいの森には西側から運ぶルートが確保できました。

【風折れ木処理】

第2駐車場からふれあいの森に入る遊歩道入り口付近で激しく枝倒れしたコナラの処理を行いました。

当初、木に登って折れた先だけの処理を考えたのですが、折れた枝が邪魔でなかなかうまく木に登れず、結局、先だけの処理をあきらめ、根元から切り倒すことに。フランス人のT氏をはじめ、森塾出身の倶楽部員がたくさんさんかしてくれて、僕が切り倒したコナラをてきぱきとせいりしてくれました。もちろん、たくさん枝が出ているコナラの処理は難しい部分もあるので、げんきのベテラン倶楽部員Sさんがその辺りはうまくフォローしてくれました。

こうして、ベテランと新人倶楽部員がうまくかみ合った作業で、入り口付近のコナラと入り口に横倒しになっていたコナラ、それから、タヌキの尾までのルートの危険木をけっこう処理できました。

でも、まだまだ処理が必要な木はたくさんあります。そしてそのほとんどがコナラなのです。コナラは割と折れやすいのでしょうか。

来月もしっかり危険ボク処理に汗を流します。

ふれあいの森プレーパーク

12/2 (中止)

プレーパークは復旧が必要なため、休止させていただきます

1/6・2/4 (お休み)

プレーパークは例年通り、1月・2月はお休みします。3月からの活動をお楽しみに！

根来山げんきの森倶楽部の活動と催し

- 11月1日(木) 9:00～ 恵み体験(藤戸台小)
 3日(土) 13:00～ 自然観察会
 17:00～ 運営会
 4日(日) 10:00～ 森林整備(プレーパーク地復旧)
 8日(木) 9:00～ 恵み体験(三田小)
 9日(金) 12:00～ " (直川小)
 10日(土) 10:00～ 野鳥観察会・巣箱づくり
 11日(日) 10:00～ 昆虫調査隊
 15日(木) 12:00～ 森林・林業教室(調月小にて)
 18日(日) 9:30～ 定例活動・和大会奉仕実習
 19日(月) 7:00～20日(火) 倶楽部員研修「海上の森」
 22日(木) 12:00～ 恵み体験(吹上小)
 24日(土) 8:30～ かくばん祭り
 30日(金) 9:00～ 恵み体験(八幡台小)
- 12月1日(土) 13:00～ 自然観察会
 17:00～ 運営会
 3日(月) 13:00～ 恵み体験(鳴滝小)
 6日(木) 9:00～ " (有功小)
 7日(金) 9:00～ " (名草小)
 16日(日) 9:30～ 定例活動
 22日(土) 9:30～ 竹細工同好会
 27日(木) 9:00～ 大掃除
 28日(金)～1/3日(金) 休園

それぞれの活動のお問い合わせ、申込みは事務局または管理棟(Tel&FAX 0736-61-7233)まで。火曜定休日
 事務局 E-mail: forest-o@ares.eonet.ne.jp

根来山げんきの森
11月・12月の催し

昆虫調査隊員募集中：基本的に子どもを中心に、その保護者と活動しています。活動日は毎月第2日曜日。昆虫の好きな方は参加してみてください。

倶楽部員募集中：私たちと一緒に、森林公園の整備やいろいろな活動をする仲間を求めています。いつからでも入会できます。

12/1(土) 自然観察会

げんきの森が紅葉で色づき始めました。

もうすぐやってくる冬までの、束の間の癒しの季節です。暖かい服装に身を包んで、倶楽部員と色とりどりに装った森を覗いて歩きましょう。

日時：12月1日(土) 13:00～15:00

参加費：200円(小学生以上)